

その  
ところはっ  
教えてください  
そのワケを  
#23



マキバノハナゾノの春を  
彩る一面の水仙



玄関の小窓。来客が気になる  
金一さんの愛猫たち



水辺にはミズバショウの  
群生も



満開の水仙が彩る「マキバノハナゾノ」で

大久保 金一 さん (小宮)

4月中旬、大久保金一さんが季節の花々を咲かせる「マキバノハナゾノ」で、数十万株の水仙が見頃を迎えていました。大久保さんは、「マキバノハナゾノ」と名付けた自宅の周りの庭で、さまざまな植物を育てていて、庭を通じて交流する人たちから、いつしか「花仙人」と呼ばれるようになりました。花の季節には、その庭を一般にも公開し、訪れる人たちとの交流を続

けています。春には水仙をはじめ、多様な品種の桜やカタクリが咲き、夏にはアヤマや大輪のバラ、秋にはコルチカムと、マキバノハナゾノは季節を追って景色を変えていきます。そして、一つひとつの植物に、金一さんとの物語があります。構想から長い年月をかけて花園を作り続けてきた金一さん。「ようやく8割くらいできたかな」と笑顔ではにかみました。

澄美れ会×協力隊の舞い



藤花新流「澄美れ会」の舞踊に、地域おこし協力隊らが挑戦。4月10日は、高野澄子さん(前田・八和木)から、村内のイベントで披露予定の2曲の振り付けを習いました。「川俣町などで会のお稽古をしてきましたが、ようやく自宅の稽古場で」と高野さんも笑顔。この日は村のお試し住宅に滞在していた2人も参加しました。

道の駅で村の手打ち蕎麦を

レストランの食事提供は午前11時から午後3時まで(カフェメニューは午前9時30分から午後5時)。水曜定休。



写真はかきあげそば(700円)。せいろそば、かけそば、山菜そばもあります。

「いいたて村の道の駅までい館」に登場した蕎麦メニュー各種が人気です。蕎麦は、村内産「前田明神そば」の蕎麦粉を使用した二八蕎麦。「いいたて愚真会」の有志が「いいたてまでい愚真会」として、蕎麦打ちを担当しています。手打ちのため、数量限定での提供。ふるさとの蕎麦が味わえます。

交流センター「ふれ愛館」だより



おすすめ図書を紹介しします



著/法林岳之・清水理史・できるシリーズ編集部  
発行/インプレスブックス

コロナ禍で人との接触が制限される中、テレワークやウェブ会議が日常的に活用されるようになってきました。そこで交流センターでは、ウェブ会議サービス「ズーム」の活用方法を紹介する本を購入しました。この本は、初めて「ズーム」を利用する人にも分かりやすい入門書で、必要な機器の設定やセキュリティ対策、ウェブ会議をスムーズに進めるノウハウなどを紹介しています。

●お願い●  
交流センターから本を借りている方で、返却されていない方は、早めの返却をお願いします。

問 交流センター「ふれ愛館」  
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間  
平日：午前8時30分から午後5時

広報いいたて  
専用ハガキ!

お送りいただいたご意見や情報は「広報いいたて」の紙面づくりの参考にさせていただきます。また、いただいた情報を元に取材をさせていただきますので、お名前や連絡先のご記入もお願いいたします。

広報に関するご質問は、お気軽にメールでお寄せください。

お名前 ※必須  
ご住所 ※必須  
電話番号 ※必須  
メールアドレス